

## 【2ヶ所の実施地域の取組から】

### 成果と課題その1

#### 全体を通して

- ◇ 事業の実施を通し、各関係機関が有している機能等の情報共有が図られ、連携・協力体制の構築に寄与することができた。
- ◇ “こころの健康づくり”の取組支援として、従業員については、“こころの健康”についての理解を深め、身近な問題として考える機会となったと考えられる。また、1ヶ所の結果ではあるが、事後に「家族や会社の人等誰かに相談しようと思う」と回答する人が増加するなど、ストレス対処能力の向上にもつながっていることが示唆された。
- ◇ 事業主については、実施後、“こころの健康づくり”の取組を「実施している」または「実施しようと思っている」との回答が増加しており、事業主の取組意識が変化し、行動化されたのではないかと考えられる。また、小規模事業場の相談機関である地域産業保健センターの認知度が向上したことは、企業における今後の取組の推進につながると期待される。

#### 作成ツールとその活用について

- ◇ 地域産業保健センターの豊富な経験と産業保健のノウハウを生かし作成したチェックシート、リーフレットは、おおむね好評であった。
- ◇ 今後はデータ蓄積により有効性を検討し、より効果的なツールとすることが必要である。

## 【2ヶ所の実施地域の取組から】

### 成果と課題その2

#### 企業への働きかけについて

- ◇ 企業の現状やニーズを理解し、事業主、従業員の負担にならないよう取組内容を十分に検討し、「簡単な内容で短時間でできること」を優先した。その結果、訪問形式で対象者参加型とした出前講座は参加が得やすく、おおむね好評であった。しかし、事業主の“こころの健康”に関する認識や、事業参加への時間の捻出の困難性により、協力企業の選定までに時間を要した。
- ◇ 本事業は職域と協働した初めての取組であり、開始にあたっては都道府県レベルの各種職域関係団体にも事業周知などの協力を求めた。企業における健康づくりの取組の重要性を事業主が認識できるよう、今後もそのネットワークを活用した事業周知や、多様なアプローチによる普及啓発が必要である。

#### 職域関係機関との連携について

- ◇ 連携会議の場で、“こころの健康づくり”のアプローチの困難性などの課題や、地域・職域の協力体制の重要性が認識できた。また、具体的な取組工程の中で関係性が深められ、講演会や調査の協働実施など新たな取組につながった。
- ◇ 今後は、他地域においても地域・職域各関係機関のもつ機能を十分に生かした連携体制が構築できるよう、具体的な連携事業の実施や「地域戦略会議」設置についての積極的な働きかけが必要である。